

# 2023年度 事業報告

## 1 事業概要

2023年度末の当センターの会員数は、1年間で41人が入会され34人が退会されましたので、結果、7人増えて295人となりました。ここ数年の減少傾向から微増に転じています。

この要因の一つとして、現役労働者の雇用延長や高年齢者雇用安定法の改正により努力義務ではありますが、70歳まで就業機会を確保するようになった中、普及啓発活動や相談事業を継続実施してきたことによるものと考えます。

こうした中、60歳代の加入者が減る一方、現会員の加齢により平均年齢は、昨年の75.4歳より0.2歳上昇し75.6歳、主な退会理由としては、病气及び加齢によるものとなっています。

事業実績として、請負事業は対前年度比で約410万円の減少となりました。この要因としては、一昨年10月からの愛知県最低賃金の改正（約3.2%上昇）を踏まえ、昨年度における作業単価の見直しを行ったものの、市役所及び下般若配水場の宿日直業務が昨年4月を以て終了したことによるものです。

派遣事業は、受注件数は増加したものの、資源ごみの回収・運搬業務が昨年9月を以て終了したことにより約9万円の減少となりました。

こうした運営状況の中、理事を中心とする各常任委員会で、それぞれ所管する業務の重点項目を中心に、課題に対する検討をしました。

また、経理事務においては、昨年10月施行のインボイス制度を円滑に導入できるよう研修等に参加するとともに、施行に合わせた事務費率の改正を行いました。

さらに、配分金についても、2021年度末頃からの原油価格高騰による燃料など材料費等の上昇に加え、昨年10月からの愛知県最低賃金の改正（約4.2%上昇）を踏まえ、本年度における作業単価の見直しを行いました。

新型コロナウイルス感染症が、昨年5月8日には「2類」から「5類」へ移行し、作業場所や業務量に係る規制や制限が緩和されたものの、業務量が減少している現状にあります。

## 2 実施または計画した主な事業

### ○ 安全適正就業委員会

#### (1) 安全・適正就業の徹底

##### ① 安全就業の徹底

「安全はすべてに優先する」を念頭に、ヘルメットや安全带などの安全装備の使用を徹底するとともに、新たな安全対策、事故防止器具の啓発

に努めました。

会員の安全を目指した先進地視察は、コロナ禍で実施できませんでしたが、事故発生後の再発防止策の周知、安全パトロール・研修（3回実施）などの安全就業に取り組みました。

## ② 適正就業の推進

多くの会員が公平な就業機会が得られるよう適正就業ガイドラインに沿った請負・派遣事業の説明や有料職業紹介事業も考慮に入れた適正就業の確保に努めました。

## (2) 交通安全の推進

高齢者による交通事故が増加している中、個々の交通安全に対する意識が高揚するよう交通安全の啓発に努めました。

また、自動車安全運転管理規程に基づき、引き続き運転前のアルコール検知器によるチェックを行いました。

## (3) 健康・衛生管理の徹底

会員の就業中の熱中症対策として、引き続き熱中症見舞金制度に加入しました。また、インフルエンザ、新型コロナウイルスなどの感染症予防、健康診断の受診など、会員自身の健康・衛生管理に対する意識啓発や健康講座を実施しました。

## ○ 事業普及委員会

### (1) 就業開拓の推進

#### ① 就業機会の拡大

高齢者の就業機会の拡大の観点から、愛知県シルバー人材センター連合会が開催する高齢者活躍人材育成確保事業を応援し、多くの方が事業に参加できるよう周知しました。

また、ハローワークにおいて、市内企業の募集状況調査、及び昨年1年間の「お断りした注文」の集計により、世情のニーズや不足している職種の会員を把握し、今後の事業運営に反映させました。

#### ② 普及啓発活動の推進

シルバー事業の理念や事業内容等について広く周知を図るため、高齢者生きがい活動センターから離れた3地区（江南団地集会所・布袋ふれあい会館・宮田地区学習等供用施設）及び江南市ボランティア分別指導員交流会に合わせ、KTXアリーナ（江南市スポーツセンター）にて出張入会説明会を開催しました。

また、シルバーの日の清掃ボランティア（フラワーパーク江南）を実施し、広く市民に高齢者の生きがい活動と地域ニーズの融合に取り組みました。

さらに、フラワーパーク江南で開催された「H a n a マルシェ」、すいとぴあ江南で開催された「こうなん産業フェスタ」に出店し、野菜や手作り作品の販売をしました。

### ③ 福祉・家事援助サービス事業の推進

江南市が実施している、できる限り住み慣れた地元で暮らせるようにする「介護予防・日常生活支援総合事業」に、関係機関とも情報共有を図りながら、この総合事業の中の家事援助サービス事業に引き続き取り組みました。

## (2) 独自事業の推進

### ① 襖張り替え等独自事業

会員が独自に創出しました、襖・障子・網戸の張り替えに取り組みました。(就業延人数：307人)

### ② お墓の水洗い・代理焼香事業

女性会員活躍特別委員会が中心となって、お墓の水洗い・代理焼香に取り組みました。(就業延人数：21人)

### ③ 新たな独自事業の開拓

会員の就労機会を目指し、新たな独自事業を開拓するため、調査研究しました。

## (3) 会報編集等の実施

会員の活躍ぶり、総会など各会議や催しものの状況・雰囲気などが伝えられるよう取材に取り組み、1年間の活動内容が目に留まり、読み取りやすい会報の作成を目指しました。

また、今後、利用者の増加が見込まれるホームページにおいても、新たな情報を掲載するなど情報の発信に努めました。

## (4) アンケート調査の実施

高齢者の就業率の向上を図るため、全会員(286人)対象に、従来の調査内容を見直してアンケート調査を実施し、その結果を全会員にお知らせしました。(回答率：46.1%)

また、お客様の満足度の向上に努めるため、任意に選んだ顧客100名を対象に顧客満足度アンケート調査を実施しました。(回答率：54%)

## ○ 総務委員会

### (1) 組織体制の充実

#### ① 組織、規程等の整備

社会情勢の変化に速やかに対応するため、職員給与規則、臨時職員等の就業規則など規程等の見直しを行いました。

また、インボイス制度の開始に伴い、事務費(特例分)を創設しまし

た。

## ② 指定管理の受託

会員の自主的な活動を支援するための高齢者生きがい活動センターの施設管理を市から受け、効率的な指定管理運営に努めました。

## (2) 会員の資質向上・福利厚生の実施

会員やシルバー人材センターに対する期待と信頼性を向上させるため、会員自身の技術・能力の向上に取り組みました。

また、定時総会の開催に合わせ、日用品等のバザーを実施しました。

## (3) 相談事業の実施

市内高齢者の方の「生きがいづくり」の一助として、雇用・就業に伴う様々な相談を常時施設内で行い、アドバイスをしました。

当センターに入会を希望される方を対象に、随時入会相談を実施しました。(随時相談者：75名)

また、交通弱者など当センターに来所できない方を対象に、藤ヶ丘地区(江南団地集会所：3名)、布袋地区(布袋ふれあい会館：6名)、宮田地区(宮田地区学習等供用施設：2名)の3カ所とともに、江南市ボランティア分別指導員交流会に合わせ、KTXアリーナ(江南市スポーツセンター：50名)にて出張説明会を実施しました。

さらに、会員の円滑なデジタル環境への移行を図るため、その利用問い合わせに対応するため、デジタル関係窓口を設置しました。(随時相談者：61名)

## ○ 配分金検討特別委員会

労働者の最低賃金や原材料費の高騰を考慮し、これらを作業単価に反映させる配分金等の見直しを検討しました。

## ○ 女性会員活躍特別委員会 愛称「輝らり」

全国シルバー人材センター事業協会、愛知県シルバー人材センター連合会の方針に沿い、女性会員の拡大を目指し、女性ならではの、また女性が得意とする仕事の検討や、新規事業、教室等の活動に取り組みました。

〈取り組み内容〉

・お墓の清掃、代理焼香(就業延人数：21人)

・スマホ教室 7月(3日間：参加者延べ11人)

11月(1日：参加者 4人)

・美容健康講座 2月9日(金)

Home&nicohall(江南市民文化会館)

第2会議室(参加24人)